



里のギャラリー 143

放射能が吹き飛ばしたものは...

知人がテレビに映ったので、あわててカメラのシャッターを切りました。20年ちかく前にお宅を訪ねたこともある、福島市の郊外で酪農を営んでいる佐々木さん。



すごい人で、農家として原乳を生産するだけでなく、自宅にミルクプラントをつかって、殺菌・瓶詰めから宅配までやってしまうという意欲的・壮大な家族経営を実現してきました。息子さん夫婦もがんばっていたはずです。

そんな努力が、東京電力の放射能に吹き飛ばされてしまいました。なんという悔しさ情けなさ。それは、20数年、無農薬で田畑をつくってきた全くの我が事でもあります。

やい、東電の社長はじめ歴代の幹部ども！ 下請け社員や消防署員を犠牲にしないで、自ら放射能を浴びて、その飛散を食い止めろ！

救援物資とともに帰還したItuさん

上記の佐々木さんは、うちも参加している農民運動全国連合会(「農民連」)の前の会長を務めた方でもあります。その傘下の茨城農民連の仲間たちが先日、救援物資をトラックに満載してかけつけてくれました。

うちからも米を積み足して、まず北茨城市役所に向かいました。で、左下の写真、トラックの荷台の中、

右側に写っている人物について。

中郷町のItuさん。海岸端にあった自宅が津波に襲われて、家屋は無事だったものの、自動車が水に浸かって動かなくなりました。職場も当分は再開できず、水道も復旧してないし、放射能は飛んでくるしで、水戸市のほうの親戚宅まで自転車避難したばかりでした。

そんなItuさんを、今回のトラックで自転車もろとも積んできてもらいました。地元でボランティアに参加するということで、運搬したなかで一番の救援物資になったかもしれません(^_^);

物資は福島県のほうが不足していると聞いていたので、北茨城市役所で半分ほどを降ろした後、いわき市に向かい、県会議員の宮川えみ子さんの事務所で段取りをとってもらうことにして、同所に降ろしました。



北茨城市役所で



いわき市で

震災で産卵減？

ようやく増え始めた産卵でしたが、震災の影響でかなあ、関係ないか

な、いやそうにちがいません。ここへきてまた減ってきています。